

報みょうとく

題字 松川裕子

浄土真宗本願寺派妙徳寺
(安芸教区志和組)
発行責任 寺報編集委員会
東広島市八本松町飯田六〇二
電話〇八二四二八〇一四四



報恩講にお参りください

十一月二十五日には当寺の報恩講をお勤めいたします。感染症拡大防止に配慮して午後一時からの一座のみ開催いたします。お斎(会食のこと)はありませんが、大事な法座でありますから是非ともお参りいただきたく思います。

緊急事態宣言が延長され、なかなか新型コロナウイルス感染症問題に収束の目途が見えてきません。何の憂いなくお会いしたいのですが、そのもろいかな状態がもうしばらく続くようです。

それでもお寺の法座や写経の会、仏壯定例会などの活動は止めることなく、ほんのわずかな時間でも仏縁をいただいていることを考えています。万全を期して中止とすべきのご意見もあろうかと思いますが、私たちが「後主の一大事」のご法座は「後主の一大事」の解決を求めての聴聞の場であり、「今生最後のご縁」と心得るべきであるとい



上) 数年前の報恩講の様子
下) 同年のことも園の報恩講※プライバシーに配慮して写真を加工しています

寺院活動のための 新型コロナウイルス感染症拡大防止の方針

安芸教区志和組13カ寺

<趣旨>
現在、地域の様々な活動・行事が、また本山別院・各寺の法座や行事も自粛あるいは短縮や中止などの判断をとっております。(中略)
今後私たちの法座の機会を守り寺院活動を消極的なものにならないために志和組法中で協議、感染防止対策をとりながらより安全な法座を開催することを目的として、あらためて次の5点を志和組法中の方針として申し合わせることにしました。

<志和組法中としての方針>

- [1] 手指の消毒設備の設置、マスクの着用依頼、室内の換気、飲食提供に対する配慮等、適切な感染防止対策を講じること
- [2] 3密(密閉・密集・密接)の状態にならないよう互いに配慮を心がけること
- [3] 大声での発声、歌唱とならないように配慮し、又は近接した距離での会話等を控えるように呼び掛けること
- [4] 参拝くださる方には事前の検温をお願いし、37.5℃以上ある場合は参拝を控えていただくようお願いすること
- [5] 相手の痛みを知る仏教徒として、感染者・医療福祉関係者やその家族などを誹謗・中傷・差別になる言動を厳に慎むこと

私のハッピーカ

いろいろな場面で「わかったぞ」と感じられたことがあり、と思えます。このような皆さまのご経験を「ハウレカ(そうか)」と題して掲載していきます。仏教や浄土真宗に関することとなくとも構いません。皆様方からの投稿をお待ちします。今回は仏社会員の玉田さんに寄稿していただきました。

おとりこしとおたんや

また報恩講の時節が近づいてまいりました。報恩講は親鸞聖人のご命日法要です。ご命日は、旧暦十一月二十八日、新暦では一月十六日にあたります。京都の本山、本願寺では毎年一月九日から十六日にかけて『御正忌報恩講』の法要が勤まります。報恩講の名称の由来は、聖人の孫の覚如上人が親鸞聖

みょうとくチャンネル開設

現在、お集まりいただくことに制約があるため、お寺での行事にも気を遣うことが多く、それがために仏縁が遠のくことになりざるを得ません。お寺にお集まりいただけない方も仏縁にあっ

一語法話

『正信偈の十二光』
阿彌陀仏はすべての人を救うためにどのような仏になられたのか？親鸞さまはそ

行事予定

十一月二十五日(木) 午後一時
報恩講(ほうおんこう)
講師 広島市東蟹屋町妙覚寺 樽谷和幸師
(高座説教を予定して下さっています)

この先の私達の家族の支え、財産となりますよう、各家庭でも任職を迎えておとりこしをお勤めいたしまししょう。お寺の報恩講にもお参りしましょう。私は毎年本山のおたんやにもお参りしていますが、皆様もご都合がつけばぜひ一緒に参りいたしましょう。
南無阿彌陀仏
南無阿彌陀仏
(玉田義幸)

の働きを『正信偈』で十二の光とお教えくださいます。それぞれのようなお働きなのか、親鸞聖人のご和讃を通して味わってみます。
⑧智慧光
「無明の闇を破する故智慧光と名けたり一切諸仏三乗衆共に嘆賞したまへり」
なぜ阿彌陀仏の光明には、穢れを抜き去り苦しみを喜びに変える力があるのでしょうか？それは、阿彌陀仏の光明には真実の自分を見失わせる無明の闇を破り、本当の自分を明らかにしてくれるからです。
私たちは自分で自分の本当の姿を見ることができません(次頁へ続く)

報恩講終了後
護持会報告会
十二月二十六日(日) 午後二時から一時間
年末お掃除
大晦日 午後十一時半から
除夜会(じよやえ)
元旦 午前十時より一時間半
修正会(しゅうじょうえ)
一月七日(木) 午後一時、午後六時半
御正忌法要(おたんや)
講師 八本松町篠本派布教使 岡本法治師

行事予定
十一月二十五日(木) 午後一時
報恩講(ほうおんこう)
講師 広島市東蟹屋町妙覚寺 樽谷和幸師
(高座説教を予定して下さっています)

行事予定
十一月二十五日(木) 午後一時
報恩講(ほうおんこう)
講師 広島市東蟹屋町妙覚寺 樽谷和幸師
(高座説教を予定して下さっています)

(前頁からの続き)

ん。とりあえず鏡で見ることではできませんがそれは本当に自分でしようか。すまして顔の自分ばかりで、怒りでカッとなっている顔は見ることは困難です。他人が見る私の姿と自分が思っている自分とはかなり異なるのだと思います。自分の声も録音したものを聞くと違和感を覚えます。自分が聞いている自分の声とは違う、他者はこのような声を私の

「藝州賀茂郡飯田村 獨歩行」

竹本省三

其の八

「日本人は米を食べてはや二千年」

日本種米は紀元前三世紀頃、中国の揚子江下流域一帯で栽培されていたもので山東半島、朝鮮半島東部、南部を経由して北九州に伝わったと云われている。朝鮮半島では「經由して伝わった」と単純にスルーしたと表現するのを由としない。朝鮮民族が長い歳月をかけて改良しながら伝えたと拘っている。その通り、些かも異論の余地はない。

韓国の「辰韓伝」によると先祖は秦始皇帝が中国を統一した時代に、重税と労役・徴兵に堪え兼ねて山東

ものとして聞いておられるのか。自分で自分を理解することは困難なことなのでしようね。

私たちは、始まりのない初めから本当の自分を知らず、知らない事さえも気付かず、自分の中で作り上げた仮の自分を自分だと思っ生きています。この仮の自分を事を仏教で我と言われます。私たちは、この我を肯定し満足させてくれるものに対して執着し、もつともつとと貪り求め、また、反対に

我を否定し正してくるものに対しては苦しみを感ずる。自分で作り上げた仮の生きようとするので、どこまでも本当の自分に出会うことはありませぬ。本当の自分に出会うことがないのでも、真に満足を得ることはなく、どこかに虚しさや不安が残ることになるのでしよう。

阿弥陀仏が「我は本当の自分ではない」と知らせようとしても、私たちは我の殻の中に閉じ籠り、なかなか真実を受け入れることはできません。「はい、そのとおりです」と鏡の姿を素直に受け止めることはできません。そんな頑な私の無明の闇であらうともなんとしてでも破り、真実の自分を知らせようとしてくださる阿弥陀仏の智慧光のはたき、大宇宙の諸仏も菩薩も縁覚も声聞も一団となつてほめたたえ(嘆賞)しておられるのです。

編集後記
感染症は、二歩進んで一歩下がる、または一進一退の状態でしようか。以前のようにならなく、お会いできるようになれますことが待ち遠しくなりません。そのため何らかの制約がついてくることも、一度でもお会いできます機会を大切にいたしたく、この紙面でご案内し続けて参ります。

合同墓・墓地案内
有縁の皆さんでおまもりしている合同墓と一般墓地があります。たくさんの方にご利用いただけます。



半島から海を渡り朝鮮半島に移した。という訳で自分たちの「言語」は圧制者のものとは違った独自のものを創出したのだと述べている。しかし現代韓国の言語学者は「ハングル文字」と「漢字」の共通性が少ないので中国語、日本語に馴染めないと嘆き始めている。そう言えば、私と共に勉強した中国人留学生は古典文学「源氏物語」と「古代宗教」の関連性を論文に纏め、博士号を取得して帰国し、大学の研究者の道に進んだ。日本の古文書が分かるのかと尋ねると、言語文化が両国の間で脈々と繋がっているのだから程苦勞しないで済むのだと答えた。日本人としては気付かないことが、他国の人から学ぶことがある。

た痕跡が発掘されている。圧制による民族移動によって、米は朝鮮半島に渡り、改良され生産形態を付帯しながら歳月をかけて倭国に伝播したのである。北九州では稲穂を刈り取る石包丁(中国では石刀)が発掘されている。中国の戦国時代終盤に華中から山東半島にかけて稲作民族の「楚」という国があった。朝鮮半島北部高句麗(現在の北朝鮮)は中国北東部ツングース系騎馬民族。新羅(韓国東部)、百濟(韓国西部)は楚族と朝鮮史に載っている。中国側から見れば高句麗は中国王朝支配下の一地方であるから中国の一部と見做しているの、今後の朝鮮半島統一の大きな障害になるだろう。

このように古代東アジアでは国境を越え躍動的な交流があったが、現在では、どの国も自国優位で、歴史を都合よく偽装し、歴史的普遍的な根拠に基づいた論説ではない。国々の政治都合が歴史を創作し、政具の一つに利用されている。

米は貯蓄できるので食料が安定することが分かってくると、食糧物が満たされれば、人口が増え集落を形成する。その共同生活がやがて集団の格差を生み競争が始まる。強い者と経験を得た者が富と権力を握る。支配と被支配者階級の格差が益々広がる。小さな村社会を覗いて見れば、仲間どうしのイザコザが生じ、小さな軋轢が精神病、人が増えれば排泄物等の処理が自然の浄化に追い付かず、不衛生が疫病を蔓延させていく。

稲作は、種蒔き時期と収穫時期は猫の手も借りたい程に忙しいので、先住の縄文人であろうとも労働力確保の為に歓迎された。また良い米を沢山作る為には、計画性(どれだけ種を残すか)が必要となり、いつ種を蒔くのが良いか経験していく。そこで自然を司る神の存在を畏れ敬った古代信仰が生まれた。自分達で種を蒔き育てた物の収穫の充実感(狩猟とは別の喜び)に気がついた。米をもたらした弥生人と従来から住んでいた縄文人とはこのように自然に融合していったのである。

しかし、縄文式土器模様の幾何学的創造性は、農耕に追われ徐々に失われていった。庶民は自分達が食べる最低限の量ではなく、貢物として納める余剰な生産に追われ始めたのである。都では大王(天皇)を頂点にした朝廷階級が雅の生活を送らんが為に過重な労役を

「多様性を認め合う社会」は、流行語になっていくが、やがて消滅するのではないかと危惧している。杞憂に転じる時は私の世代ではない。

幾何学的創造性は、農耕に追われ徐々に失われていった。庶民は自分達が食べる最低限の量ではなく、貢物として納める余剰な生産に追われ始めたのである。都では大王(天皇)を頂点にした朝廷階級が雅の生活を送らんが為に過重な労役を

「多様性を認め合う社会」は、流行語になっていくが、やがて消滅するのではないかと危惧している。杞憂に転じる時は私の世代ではない。

幾何学的創造性は、農耕に追われ徐々に失われていった。庶民は自分達が食べる最低限の量ではなく、貢物として納める余剰な生産に追われ始めたのである。都では大王(天皇)を頂点にした朝廷階級が雅の生活を送らんが為に過重な労役を



妙徳寺ホームページ
http://myotoku-ji.sakura.ne.jp/
「みょうとくチャンネル」もご覧ください

志和組テレホン法話「みのりの電話」
433-4989 (しじゅうさんざん、しくはつく)

10月 1日	～	寿福寺	寺	田中幸恵	中田幸恵	幸道	恵道
10月 11日	～	長松寺	寺	中西輝憲	中西輝憲	輝道	道雄
10月 21日	～	西連寺	寺	西浦憲義	西浦憲義	憲道	道雄
11月 1日	～	八本松	南	玉田義幸	玉田義幸	義道	幸雄
11月 11日	～	西方寺	寺	安國真雄	安國真雄	真道	雄
11月 21日	～	光源寺	寺	堀靖史	堀靖史	靖道	史
12月 1日	～	西方寺	寺	安國智一	安國智一	智道	一
12月 11日	～	寿福寺	寺	田中一乘	田中一乘	一乘道	乘
12月 21日	～	志和寺	東	石川了真	石川了真	了真道	真

志和、八本松川上地区の本派寺院13カ寺のテレホン法話です。3分程度のお話を24時間いつでもお聞きいただけます。ぜひ、電話でもお聴聞してください。

「写経の会」開催予定日
10月 22日(金) 午後2時より
11月 26日(金) 午後2時より
12月 3日(金) 午後2時より

申し込みは 代表 西本さん(428-2466)、または妙徳寺へご連絡下さい。

「妙徳寺仏教壮年会例会」開催予定日
10月 9日(土) 午後7時から定例会
11月 13日(土) 午後7時から定例会
12月 11日(土) 午後6時から定例会
毎月第2土曜日午後7時開催を原則としています。

「生きていくための仏の教え 仏教基礎講座」
10月 9日(土) 午後2時より
11月 13日(土) 午後2時より
12月 11日(土) 午後2時より

申し込みは 代表 廣川さん(428-5935)、または妙徳寺へご連絡下さい。

「おみのりサロン」開催予定日
10月 20日(水) 午後2時より1時間半(『大乘』講読会と座談会など)

「お茶の会」開催予定日(参加者募集中、ご連絡ください)
現在休止中、再開については電話かホームページでご確認ください。